少人数学級は国民・市民の願い

さいたま市教組新聞

さいたま市
教職員組合
TEL 641-6763
FAX 648-3567
saitama@kyouiku-net.org
http://saitama6763.web.fc2.com/
http://pub.ne.jp/saitama6763/
2009.11.12（木）
No.161

毎日新聞９月１４日付　意見広告

毎日新聞9月14日付に一面を使った意見広告が出ました。「子どもの教育が第一　少人数学級の実現を」との見出しです。意見広告を出したのは「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会」（23団体）です。日本ＰＴＡ全国協議会を筆頭に、全国市町村教育委員会連合会、全国都市教育長協議会等の教育行政関係団体、全国連合小学校長会等の校長会や教頭会等の管理職団体、養護教諭の全国組織、学校事務職員の全国研究組織、栄養職員の全国協議会、そして教職員組合も加わっています。

私たちの21年間の取り組みで、東京を除いた46の道府県では独自の少人数学級を実施しています。同時に市町村独自に少人数学級を実現している自治体があります。

意見広告でも分かるように「国の責任で少人数学級を実現して欲しい」、これが国民の願いです。

さいたま市では「30人学級を実現するさいたま市民の会」が12月議会へ請願書を出します。今年で8年目です。

いつまでも待ってはいられません。今年の請願のポイントは、少なくとも小学3年と中学1年で35人学級を実現してほしい、というものです。

他の政令市では名古屋市が小学1年・2年で35人学級。京都市が小1・2年で35人以下学級、中学3年で30人学級。広島市が小学3・4年で35人学級。福岡市が小学1～3年で35人以下学級等と独自の施策を実施しています。

政令市の中でも財政力のあるさいたま市です。無理な話ではありません。署名へのご協力をお願いします。

１１・８国民大集会に３５０００人

11月8日、東京の代々木公園で開かれた国民大集会に３５０００人が参加

会場は人、人、人です。全国から3万5千人が集まった11・8国民大集会に埼玉から3千人以上が参加しました。さいたま市教組からも参加し、会場で市議会に提出する30人学級署名を集めました。

集会後に3コースに分かれてのデモ行進がありました。埼玉は新宿中央公園までのデモコースでした。長い、長いデモの隊列が続きました。

同じ時刻、沖縄では米軍基地撤去・新基地建設反対の県民大会が２万１千人の参加で行われました。全国各地で国民は立ち上がっています。

３０人学級の実現を求める請願署名

2009年11月

さいたま市議会議長　様

ゆきとどいた教育をすすめるための
30人学級実施を求める請願書

請願趣旨

わたしたちは、学校で子どもたち一人ひとりが大切にされ、豊かな生活を創造することで、人間らしく成長して欲しいと心から願っています。わたしたちは、ゆきとどいた教育を進めるために、30人学級の実現を求め、7年間にわたって署名活動を続けてきました。この結、埼玉県が小学校の1・2年生で少人数学級を実施しました。小学校1・2年生で実施した少人数学級に関して、さいたま市教育委員会は「一人ひとりにきめ細かい指導ができた」「落ち着いた雰囲気の中で学習できた」（「36人学級に関するさいたま市教育委員会の報告」より）ととまとめ、少人数学級を評価しています。

学力世界一で注目を集めているフィンランドでは1クラス20人前後です。しかも、授業は習熟度別でなく共通教材を使用することで協力と共同が進み、学力の向上につながっています。欧米などの先進国では、1クラス20人から25人程度の学級があたりまえとなっています。さいたま市においても小学校3年生からの少人数学級の実施が強く求められています。

息詰まる「中1ショック」という言葉を耳にします。期待と希望を胸に中学校に入学したが、中学校の雰囲気になじめず「不登校」に陥ってしまう例が多くなることです。そのため、県内県（中1年35人）、千葉県（中1年36人）、北九州市（中1年36人）などの中学校1年生でも少人数学級にする県が増えています。さいたま市においても中学校1年生での少人数学級実施が必要です。

「文教都市」として誇るさいたま市にするために、「少人数学級」の実現をぜひお願いします。

請願項目

さいたま市独自で、早急に少人数学級・30人学級を実現すること。当面、小学校3年生と中学校1年生で35人学級を実施すること。

氏　名	住　所	カンバ

■市外の方も署名できます
■FAXでもできます
取扱い団体【　　】

■家族の場合、代筆でもかまいません
FAX　048－648－3567

30人学級実現はわたしたちの願いです！

◆少人数学級の早期実現を
「今の40人という学級規模をかさくし、一人ひとりにゆきとどいた教育を」。そんな父母や教師の切実な願いから署名活動は始まり8年目になりました。昨年も、31,171筆の署名を市議会に提出しましたが、「人件費や施設設備の課題が多い」「少人数指導で効果をあげている」などの理由で不当にも不採択になりました。

◆当面小学校３年生、中学校１年生で35人学級実施を
30人学級実現への取り組みが全国的な流れのなか、2003年度から埼玉県で小学校1年生、2年生で35人学級が実現しました。少人数学級の効果については、全国的にも明らかになっています。さいたま市教育委員会も小学校1・2年生への実施でその効果を高く評価しています。今、教育現場では、子どもの学力格差や増えている「いじめ問題」など、荒れの問題な状況が続いています。多様な子どもたちがきめ細かな指導を必要としています。

今の施策では、小学校3年生になると、また40人学級に戻ってしまいます。小学校3年生から学習内容が高度になり、学齢のにも生活面でも様々な指導が必要となる学年になります。小学校3年生での少人数学級実施が切実に求められています。

中学校1年生は県の裁量で38人学級を選択することができます。しかし、決して38人学級では少人数学級とは言えず、なかなか踏み出せていないのが実態です。これが35人学級であれば、多くの中学校1年生が少人数学級で学ぶことになるので、メリットが大きくなると期待されています。

◆請願容認で明らかに！
小学校３年生で35人学級を実施した場合、かかる予算は約２億円
教室が不足する学校は１校のみ
さいたま市教育委員会は市議会で、2009年度に小学校３年生で35人学級を実施した場合、40学級増え、約２億円必要と述べています。これは、さいたま市の年間予算の0.06%に過ぎません。しかも、実施した場合、教室が不足する学校は１校のみであり、十分実現可能であることが分かりました。

◆財政を理由に後送りすることは許されません
子どもたちに確かな学力がつき、豊かな成長を保障する施策として、さいたま市も早期に小学校３年生と中学校１年生で35人学級の実施を訴願いします。

30人学級を実現するさいたま市民の会　代表世話人　大畑佳司

住所　〒330-0843　さいたま市大宮区吉敷町４－９３－５　大宮教育会館
電話　048-641-6763　FAX　048-648-3567　事務局担当Email　saitama@kyouiku-net.org